

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	生活道路整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'03	基本目標3 人と自然が調和した、やすらぎのあるまち	
	'02	②〈住みごち〉人にやさしい居住空間をつくる	
	'02	2 身近な生活環境を充実する	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働: _____】		
目的・目標		事業の概要	
道路整備により、生活環境の安全性・利便性の向上を図り、市民が快適に暮らしています。		車両のすれ違いや歩行者の安全性を確保するため、道路の拡幅や隅切りの整備など道路を改良します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
活動指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
成果指標①	指標名	生活道路整備進捗率				単位	%
	説明・算定式	平成28年度までの整備累計(2,082m)に対する当該年度までの整備累計の率(平成22年度から)					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標		14	32	46		
	実績		18	34			
成果指標②	指標名					単位	
	説明・算定式						
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度		
	目標						
	実績						
進捗状況	①：予定どおり						
	遅れている理由						
平成23年度の主な取組と成果							
片岡15号線、城所6号線、下島12号線、土屋24号線、千須谷1号線を整備し、生活環境の安全性・利便性の向上を図りました。							
平成23年度の検証結果	A：成果があがった						

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	行政が実施主体となり、市民ニーズに対応するため、道路改良を行う。生活道路を整備することで、快適な生活環境が図れることから必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	生活道路を拡幅することにより、交通の利便性を図り生活環境の有効性を高める必要があります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input checked="" type="checkbox"/> その他	市民生活に欠かせない道路整備であり、安全で快適な生活環境の確保が必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	道路整備のコスト削減に取り組みます。	<input type="radio"/> 高 <input checked="" type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		生活道路の拡幅は地域住民からの整備要望が多く、自治会や地権者の協力を得て事業を進める必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		用地買収・道路整備	工事、用地買収・補償	工事、用地買収・補償	工事、用地買収・補償
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	8,238	18,481	20,737	0
	起債	13,000	12,000	82,000	54,000
	その他 特財	0	3,157	0	0
	一般財源	106,457	63,967	11,915	13,650
事業費 (A)		127,695	97,605	114,652	67,650
執行率 (%)		95.22	95.25	82.66	
内訳	職員 (人)	2.50	2.50	2.70	1.85
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.10
人件費 (B)		20,890	20,648	21,881	15,169
フルコスト (A+B)		148,585	118,253	136,533	82,819

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	現地調査を行い、地区の利便性や危険箇所等で緊急性を要する路線など優先順位を定めて整備を進めます。
課長コメント	市民の生活環境に直接関連する事業であり、積極的な道路整備を行うことにより、地域住民の住環境の向上が期待できます。